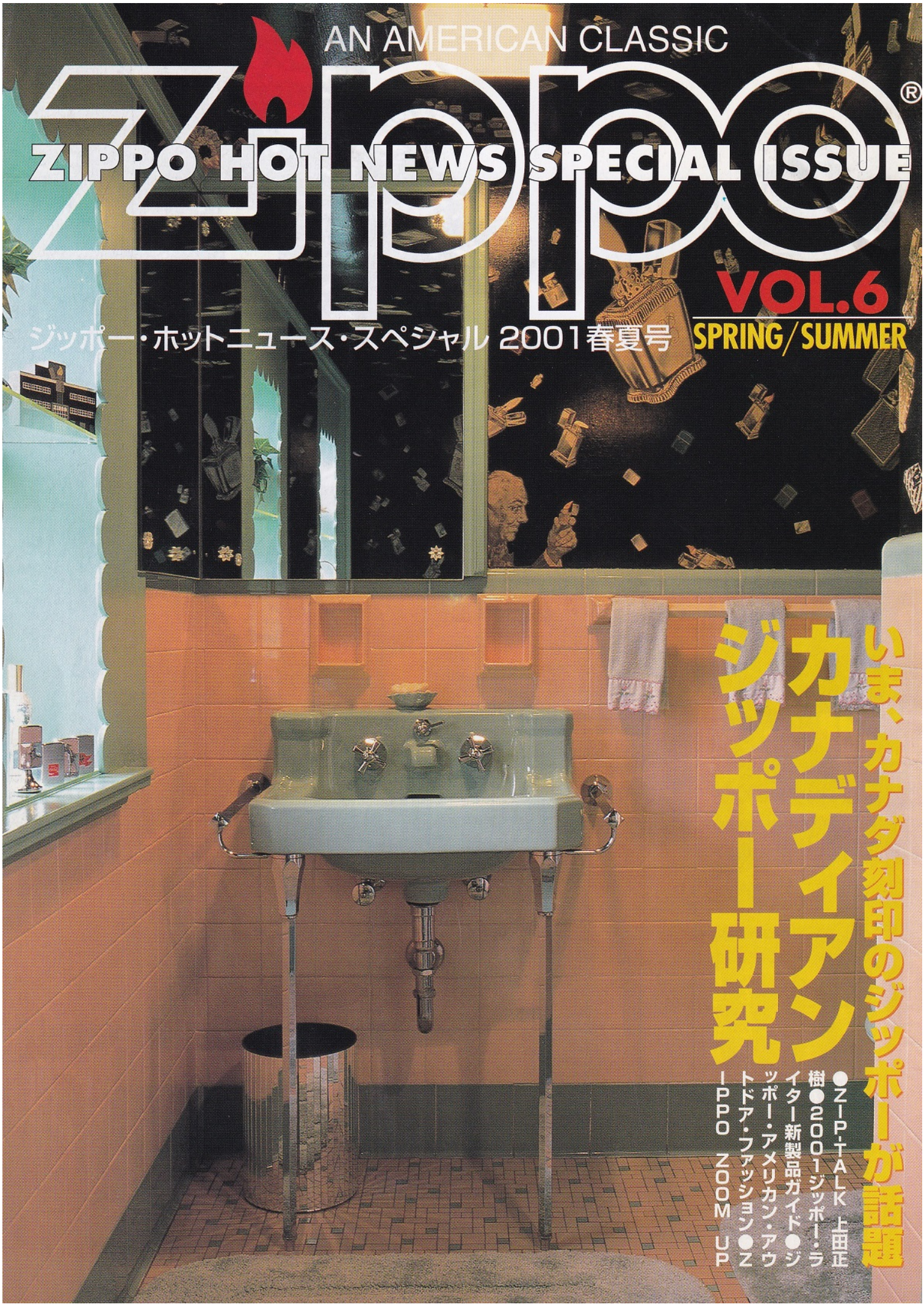
AN AMERICAN CLASSIC

Zippo®

ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE

VOL.6

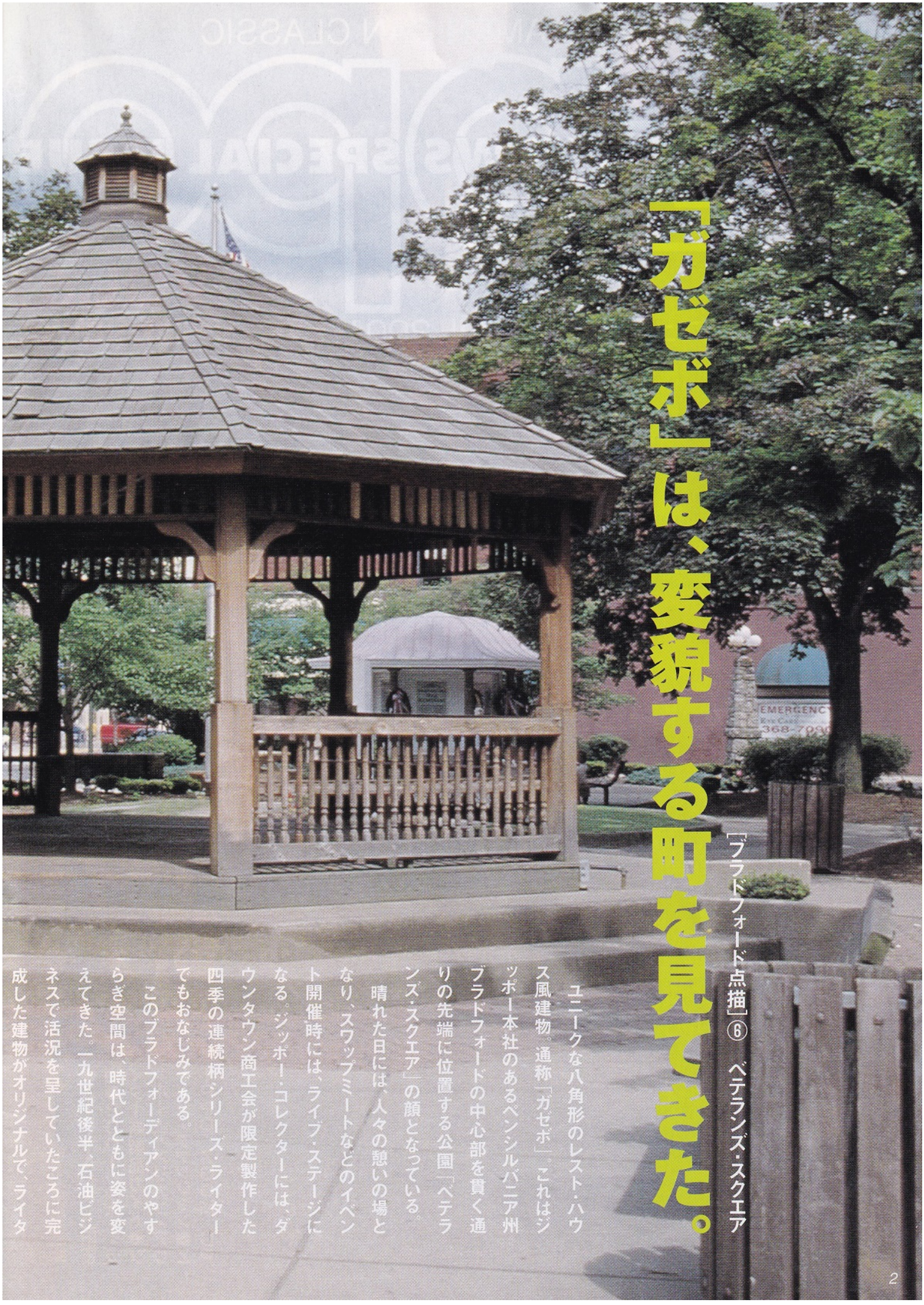
ジッポー・ホットニュース・スペシャル 2001春夏号 SPRING/SUMMER



いま、カナダ刻印のジッポーが話題

カナディアン ジッポー研究

●ZIP-TALK 上田正樹●2001ジッポー・ライター新製品ガイド●ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッション●ZIPPO ZOOM UP



「ガゼボ」は、変貌する町を見てきた。

［ブラドフォード点描］⑥　ベテランズ・スクエア

ユニークな八角形のレスト・ハウス風建物。通称「ガゼボ」、これはジッポー本社のあるペンシルバニア州ブラドフォードの中心部を貫く通りの先端に位置する公園「ベテランズ・スクエア」の顔となっている。

晴れた日には、人々の憩いの場となり、スワップミートなどのイベント開催時には、ライブ・ステージになる。ジッポー・コレクターには、ダウンタウン商工会が限定製作した四季の連続柄シリーズ・ライターでもおなじみである。

このブラドフォーディアンのやすらぎ空間は、時代とともに姿を変えてきた。一九世紀後半、石油ビジネスで活況を呈していたころに完成した建物がオリジナルで、ライタ

CONTENTS

[ブラドフォード点描⑥] ベテランズ・スクエア ―― 2
カナディアン・ジッポー研究 ―― 4
[IT'S A ZIPPO STORY]⑥ 炎は消えず／菊地昭興 ―― 9
[ZIP-TALK] 上田正樹　聞き手／岡本信義
「本物へのこだわりは、海を越えた」 ―― 10
[2001ジッポー・ライター新製品ガイド]
WORLD MODELS ―― 12
Collectible of the Year
[頂小物] ジッポー・オイルの話 ―― 13
JAPAN MODELS ―― 14
ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2001 ―― 16
[ZIPPO ZOOM UP] ―― 20
打火機在台灣 Zippo Art of Taiwan
永久保証哲学が各誌で話題
ジッポーがクライマックスで…映画「アタック・ザ・ガス・ステーション」
舞台「心ひそかに」に、ジッポー登場
「ジッポーハンドブック 2001」発売開始
ドッジボール大会、大盛況のうちに終幕
ジッポーとともに／赤須文男 ―― 22
コレクター登場
紙上ジッポー・クリニック／指導:遠島栄利
ZIPPO SHOP TOUR
FROM ZIPPO ―― 24

●表紙／壁面にはジッポーがズラリ。旧ブレイズデル邸の化粧室。

一柄にも使われたアール・ヌーボー様式の装飾的デザイン。その初期は、石油に夢を求めた移住者たちのタウン・スクエアたった。

それが一九二〇年代には、当時の流行である直線的なアール・デコ様式を継承したシンプルなデザインに生まれ変わった。園内に第一次世界大戦、第二次世界大戦に出兵し、帰らぬ人となった市民を悼み、名入りの慰霊碑が建てられたことから、「ベテランズ・スクエア」と呼ばれはじめた。その後、建物の構造は六角形になった時期もあったが、現在はオリジナルの八角形に戻されている。

ベンチに座り本を読む人。友人と語り合う人。さまざまな出会いの証人でもある「ガゼボ」も冬には雪化粧。昨年の雪便りは、十月中旬から聞かれた。あたたかな日差しを楽しむ時間は短いが、開拓時代からのストーリーは長い。

いま、カナダ刻印のあるジッポー・ライターが話題!

その誕生の地は、あのナイアガラ・フォールズ。
カナディアン・ジッポー研究

スタイルは、ふつうのジッポーとまったく変わらない。違いといえば、ライター・ボトムにある「NIAGARA FALLS, ONTARIO」とある刻印だけである。ジッポー・ライターのもうひとつの故郷ナイアガラ・フォールズの「ジッポー・カナダ」(ジッポー・マニュファクチャリング・カンパニー・オブ・カナダ・リミテッド)、ここで製作されているライターが「カナディアン・ジッポー」である。今回は、総支配人のワイオナ・ペダーソン女史の協力を得て、その全体像に迫った。



ジッポー・カナダの設立は、一九四九年。

カナダ・ジッポーのストーリーは、一九四七年八月十九日までさかのぼる。第二次世界大戦後の好景気に沸く、当時のアメリカの有力企業はマーケット拡大にカナダを着目。「カナダにアメリカ製品を完成品で持ち込む場合は高額な関税がかけられるが、部品を持ち込み、カナダで組み立て作業をする場合は、大きな関税がかからない」という節税効果に期待を寄せて、多くの工場開設を決断させている。

もちろん、ジッポー社の創業者ジョージ・G・ブレイズデルも同様の計画をあたためていた。まず、用地を取得。それをナイアガラとしたのは、アメリカから至近距離だったからに他ならない。ジッポー本社のあるブラドフォードからは、クルマで約二時間。物品運搬も容易だった点も魅力だった。当の本人も機会を見つけて、工場視察を繰り返していた。

この子会社「ジッポー・カナダ」の初代責任者は、副社長リチャード・バーバー。氏はブラドフォード出身で、一九三七年にハイパー・エアクラフト社の移転とともにロック・ヘブンに転



ナイアガラ公園内を走る2階建てバス


カナダ側から見たナイアガラの滝



玄関側から見たジッポー・カナダ



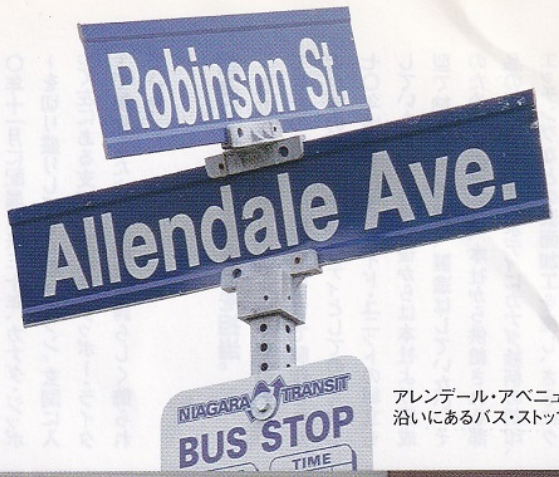
ジッポー・カナダの社屋とネオン看板


ロビーのディスプレー



フロント

居していたが、設立時にゼネラル・マネージャーとして招聘され、その基盤をつくりあげている。



アレンデール・アベニュー沿いにあるバス・ストップ

一貫してカナダ国内限定製造販売。

ナイアガラ瀑布が徒歩十分足らずで目前に迫る、ジッポー・カナダ。そのオフィス兼工場は、アメリカ国境を越えたカナダ・オンタリオ州ナイアガラ・フォールズのアレンデール・アベニュー沿いに位置している。当初は三名の従業員でスタートしているが、翌一九五〇年には二万五千個を製造。一九五五年までに従業員も十八名に膨れ上がった。

ライター製造は部品から行なっていたが、ケースが本社から供給されるようになった七〇年代の約五十名をピークに人員も減少。製造ラインやエッチングが自動化したこともあり、効率的な製造システムを実現している。現在のスタッフは二十五名。製造個数は、年五十万個。設立以来の延べ製造個数は、約一億四千個。カナダにジッポーの魅力をつたえることを目的に、一貫してカナダのみで製品を製造販売してきたことには変わりがない。



スリム・モデル発売時の雑誌広告

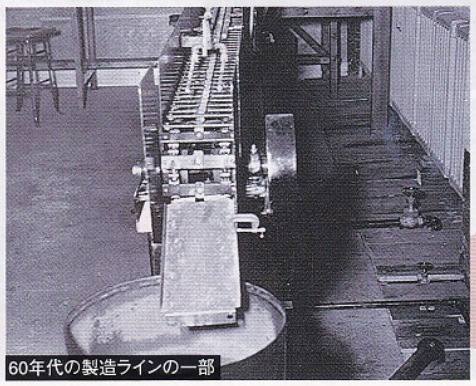

ワイオナ総支配人（左）とロウレイ製造部長



1963年に掲載した雑誌広告。ジッポー・カナダ名になっている



創立50周年を記念してつくられた、ケースのボーウィ・ナイフ


60年代の製造ラインの一部

Zippo Manufacturing
Company of Canada Ltd.
P.O. Box 1014,
Niagara Falls, Ontario,
Canada L2E 6V9
Tel (905) 358-3674
Fax (905) 358-9419
www.zippocanada.com

目印は、ジッポーのネオン看板。

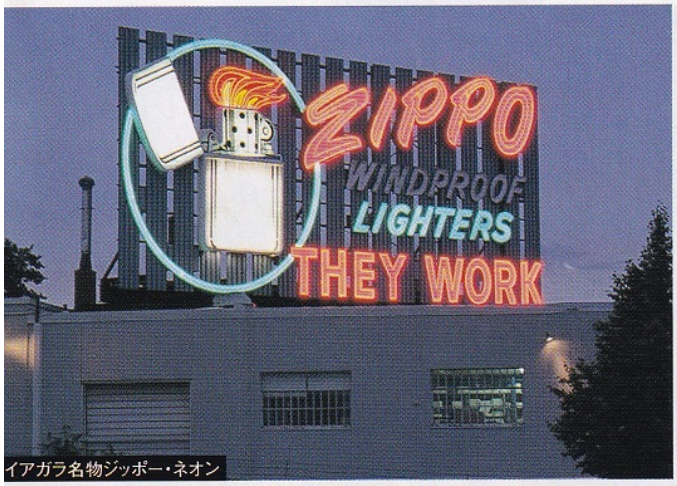
その白いオフィス兼工場の目印は、本社と同様の「大型ジッポー・ライター」のネオン看板。話題を呼んだネオンの点灯セレモニーは一九六八年、ナイアガラをぐるり見下ろすスカイロン・タワーで盛大に行なわれ、レストランの窓ガラス越しに点滅する炎に歓声を上げる幹部たちの写真が残されている。また、ここでのひとときはジッポー・カナダを訪れる世界のジッポー・ファミリーにとっての大きな楽しみになっている。

カナダでのジッポー人気が高まり、製造能力増強を目的に工場の増築は七〇年までに二回行なわれ、九〇年代に入ってからはオフィスとフロント部分を改装。建物は変則的な二階建てで、一階に製造工場、二階にフロントや修理、配送ラインなどを当てている。

もちろん、指揮をするのは、笑顔がやさしい総支配人ワイオナ・ペダーソン女史。一九七〇年十一月に配属以来三十年、カナダ・ジッポーを切り盛りしてきた超ベテラン。玄関に入って左にある支配人室には、ジッポー・ライターで製作したカナダ国旗が誇らしく飾られている。

組み立てから修理までを担当。

設立以来、大部分のライター製造を占めてきたのは、特注品部門によって製作された大企業のギフトやノベルティとしてのジッポー。七〇年頃まではインサイド・ユニットの組立もしていたが、八八年前後からは本社より完成型で納入されており、製造はしていない。そのため作業の中心は、本社から供給される部品の組み立て。そのボディにカナダ絵柄の刻印、エッチングなどの表面加工を施し、さらにクリーニング、包装、そして国内マーケットに出荷。この一連の作業の責任者は、ジーンズ・スタイルで気さくに質問に答えてくれた製造部長ライト・コウレイ氏である。



イアガラ名物ジッポー・ネオン


スカイロン・タワーから点火セレモニーを見る幹部たち。1968年


1階にあるエッチング工程











総支配人ワイオナ・ペダーソン。
左は、ジッポーで製作したカナダ国旗

総支配人から
日本のファンへのメッセージ


ッチングが完成したテープ・メジャー


マスキングのチェック


ペイント素材

もちろん、工場内には修理クリニックもあり、本社と同様のサービスを二名の担当者がこなしている。修理受付は、月五〇〇件から六〇〇件が平均。ユニークな修理礼状や修理不能品が届けられているのも本社と同様。総支配人は笑いながら、「ご覧の通り、修理が不可能な状態だったので、手紙ともども文鎮にしてしまったライターや芝刈り機にひかれたライターもあります」。

一、〇〇〇種を超えるカナディアン柄。

製作された年間五十万個におよぶライターは、大別して三種類。得意先のネーム入りモデル、ストック用モデル、ライセンス柄モデル、そして重要なのが観光用のお土産ライターである。ライセンス絵柄やセレクト品を製造開始した近年まで、ここで扱っていた製品の大部分はお土産用だったというほどだが、「クラシック物」や「セレクト品」もふえている。

ラインナップは本社と同様で、カタログも基本的には本社製を使用。しかし、特別な存在のお土産用ライターは専用カタログが求められ、アルバータ、ケベックなどの地域別デザインによる一、一〇〇個を超えるコレクションを掲載。国旗はもちろん、カエデから熊、シカ、サカナまで、カナダ絵柄のテーマは尽きない。九〇年までは本社でそのアート・ワークをすすめてきたが、カナダの特色を出すために地元のグラフィック・アーチストを起用してからは、すべてのグラフィックを行なうようになっている。



カナダならではのフランス語版「コレクターズ・ガイド」


修理クリニックとその作業風景



オーダー・シート


工程を解説する、製造部長ライト・ロウレイ






色づけされたカエデ柄ジッポー


ガラスの置物にした、修理依頼状と修理不能ライター





AからZまである、修理不能品サンプル



真空パック工程


調整作業




製品ラック倉庫




フリントとその充填

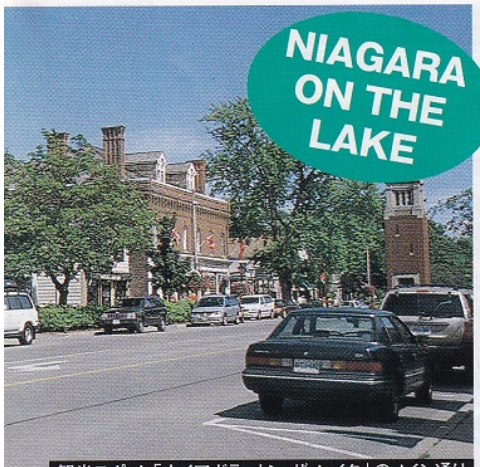
カナダ刻印とブラドフォード刻印。

この工場を出ていくライターのボトムには、「オンタリオ／ナイアガラ・フォールズ」のスタンプが付けられてきた。セレクト品の製造をはじめた八〇年代。それまでは九九%がカナダ刻印だったが、ライセンス柄モデルをリリースするようになってからは、ブラドフォード刻印も混じるようになっている。ライセンス柄モデルは本社ですべて製造され、完成品で納入されるからである。現在では、カナダに入ってくるライター・ケースのボトム刻印も本社作業。ここで仕上げているカナダ用ライターやストック用ライターは、カナダ刻印が選ばれているのは言うまでもない。加えて、ブラス製品やセレクト品の大部分も同様のカナダ刻印である。

ロゴの移り変わりとともに、ボトム・スタンプも変わり、一九八七年まではライター・ケースには、「ジッポー、ナイアガラ・フォールズ、カナダ」のみが刻印されていたが、一九八七年から現在までは製造年月がわかる本社と同様のコーディングになっている。カナダ刻印がほしいときは、ボトムのわずかな違いをチェックしたい。また、その微妙な刻印の違いが人気を呼び、カナディアン・ジッポーの製造年別刻印の研究がコレクターによってすすめられている。それに総支配人は、「鋳型は本社にあります。古い鋳型が残されているといいですね」。

「買うならカナダにいらっしゃい」

そんなカナディアン・ジッポーの存在は、雑誌や新聞などで知らされてきた。広告においても新聞やラジオなどのローカルなメディアを除き、そのほとんどはブラドフォード本社製である。カナダ国内にはさまざまな販売ルートがあり、正確な地域別販売数量は把握できないが、観光スポットでは必ず目にすることができる。ツアー客が多いナイアガラ・オン・ザ・レイクやトロントなどのショー・ウィンドーではジッポーがズラリである。「日本で購入する



観光スポット「ナイアガラ・オン・ザ・レイク」のメイン通り











ジッポーが並ぶショー・ウィンドー




各州の
花柄シリーズ



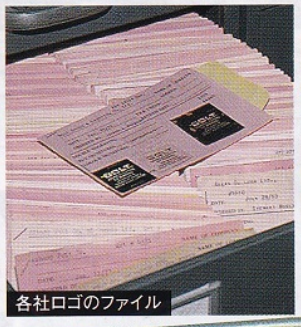
代表的なカナディアン・ジッポー



カナダ・ジッポー／デザイン柄カタログ



本社から納入されるタイタニック・モデル


各社ロゴのファイル



フィクスイット



上がカナダ刻印。
下がブラドフォード
刻印

炎は消えず



菊地　昭典

あれから十二年になる。このジッポーを一度なくしてから。

大学からの親友であるあいつとクロス・カントリーをしたときだった。僕たちのツアーは、最初は順調だった。雪原で、いつものようにコーヒーを淹れ、ホテルで作ってもらったサンドイッチで腹ごしらえをし、タバコを一本喫ったあと、僕たちは、ふたたびツアーを開始した。この調子で滑っていけば、夕方には、スタート地点であるホテルに戻ることができるはずだった。

ところが、山の天気は気まぐれだ。いつの間にか青空は掻き消え、雲が覆いはじめたかと思うと、いきなり吹雪になってしまったのだ。視界がしだいに狭まってきたが、すぐ戻るという判断はしなかった。はじめてのコースではあったが、学生時代からクロス・カントリーを楽しんできた僕たちには、さほどの問題ではなかった。反対に、この悪化するコンディションを楽しんでいた。今までも、このようなコンディションを乗り切ることを、二人で楽しんできたからだ。自信があった、どちらにも。しかし、そのお互いの自信が仇になった。

コースをショート・カットしようということになった。それはどちらも賛成だった。同時にそう判断したお互いの経験を、あらためて認めた。そこまでは良かった。だが、ショート・カットするコースが、まったく違っていた。簡単に言えば、右と左、正反対の方向だった。自信過剰気味の僕たちは、どちらも譲らなかった。

「勝手にしろ」「ああ、そうさせてもらう」

結局、僕たちは自分の主張するコースを、それぞれ行くことにした。吹雪の中に消えていくあいつの姿を見送りながら、僕は、ジッポーで、キャメル・フィルターに火をつけた。ジッポーの炎が、僕に後悔させた。このジッポーは、学生時代、二人で同じアルバイトをして、その給料でいっしょに買ったものだ。友情の印に、それぞれのジッポーに二人の名前をナイフで刻んである。

一陣の強い風に炎が揺らめく。僕は、慌ててジッポーをポケットにしまい、滑り出した。ようやくホテルに戻ったときには、あいつはすでにチェック・アウトしていた。あいつのコースの方が正しかったようだ。チェック・アウトを済ませ、ラウンジでコーヒーを飲みながら、キャメルを喫おうとしたときだ。ジッポーがないことに気づいた。もちろん、あの雪原だ。たとえ戻ることができても、探しようがない。それもそうだが、いっしょに買ったジッポーである、友情が消えたと同時に紛失したということである。そう納得したので、ちょっぴり残念ではあったが、諦めることにした。

それ以来、あいつとも連絡を取り合わなかった。時々、あいつからは、「どうしてる?」とか「元気か?」といったメールがきたが、返信は出さなかった。僕たちは、謝るきっかけを失っていた。

喧嘩別れしてから三か月が過ぎた。すでに雪どけのシーズンとなっていた。その頃になると、僕は、なくしたジッポーがどうしても気になってきた。あのジッポーに未練がないと思っていたが、どうしても落ち着かない。

そこで、僕は、すっかり雪が溶けたのを確認してから、あの高原に行ってみることにした。二人が滑ったコースには、爽やかな風が渡ってきていた。コースを思い出しながら、外れないように慎重に歩いていった。

草むらで、鈍く光るものがある。あった。ちょっと錆びついてはいたが、まさしく二人の名が刻んである。ハンカチで、丁寧に水気を拭きとり、僕はおもむろにキャメル・フィルターをくわえた。そして、ホイールを回した。懐かしい炎が、春風に揺れた。最初の一服を、おもいっきり深く吸いこんだ。今までで、一番おいしいタバコの味だった。カチッっと、背後で、蓋を開ける音が聞こえる。振り向くと、あいつがいた。

「あれから三か月だ。火がついたのか」

「もちろんだ」

ホイールを回すと、炎が、また春風に気持ちよく揺れた。

「そのままだ」

タバコをくわえたあいつが、近寄ってきた。そして、ゆっくりと、炎に顔を近づける。あいつも、うまそうにタバコの煙を吐き出した。

「お前が、このジッポー、落としたと聞いたからさ」

「だから…」

「それだけだ」

僕は、その炎を見つめたまま、言った。

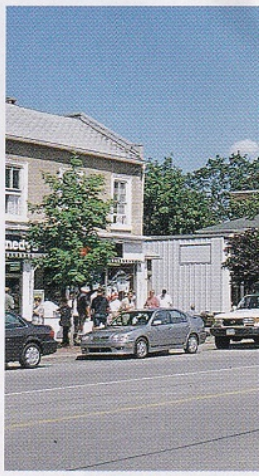
「お前に、言いたいことがあるんだ」

「偶然だな、じつは、俺もなんだ」

あれから十二年、僕たちは、まだ友達である。

菊地昭典（きくちあきのり）
作家・脚本家　一九四七年仙台市生まれ。
『遥かなるダモイ』（文化庁芸術作品賞）、映画『長江』（日中合作）他、数多くのテレビ・映画のドラマ、ドキュメンタリーを手がける。愛用のジッポーは、デス・バレー。

手だては、ありませんか?」の質問に、総支配人は「カナダにいらっしゃれば、買うことができます。カナダ国外への輸出はしていません。ナイアガラ・フォールズから西海岸まで、多くの日本の方がカナダを訪れてくださいますが、私たちは観光地用モデルを取り扱う卸売業者とも提携していますから」。





ジッポーが並ぶショー・ウィンドー



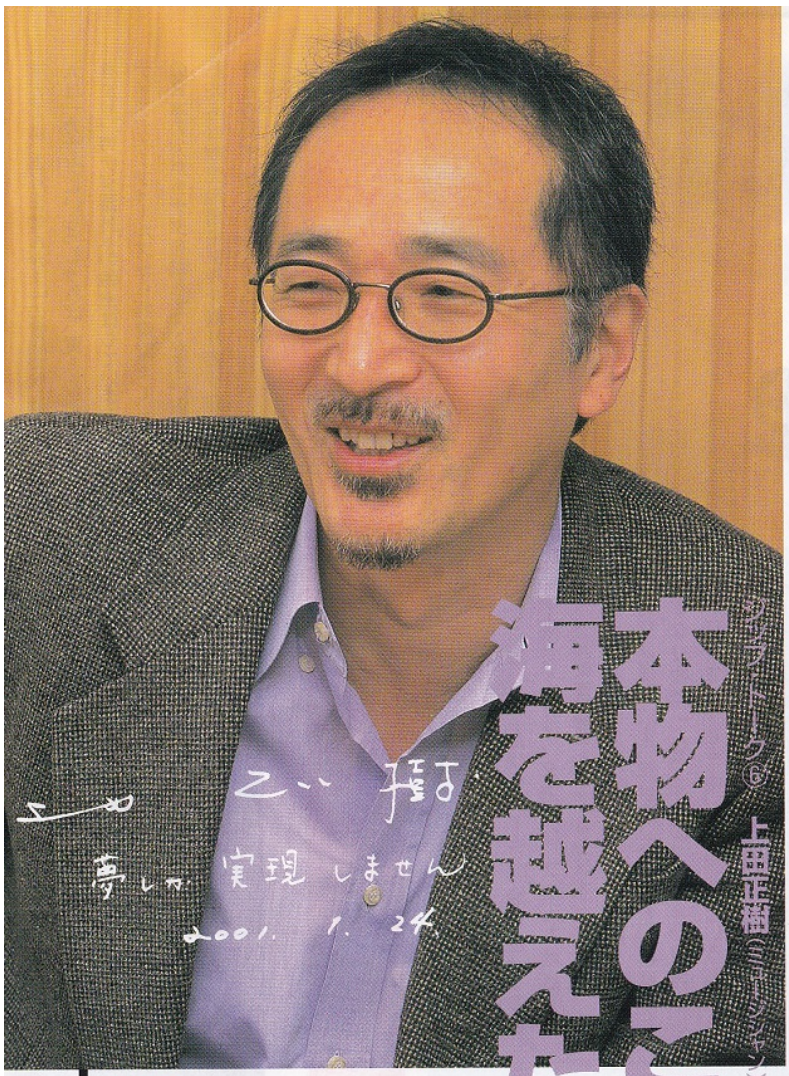


本物へのこだわりは、海を越えた。

ZIP-TALK⑥ 上田正樹（ミュージシャン）

聞き手／岡本信義（ジッポー社日本代表）

「悲しい色やね」——これほどまでの名曲を知らない人はいないだろう。上田正樹。音楽業界において、誰もが立てそうで、立てないポジションに、つねにいる。世界のトップ・アーチストとの競演も数えきれない。こだわり続けることでしか得られない世界を求め、近年、活動の主体をアジアにおいている。音楽への、執念にも似た深い愛情をもつ氏が、ジッポー・ライターのキー・ワードでもある「本物」へのこだわりを熱く語った。





アジアでの上田正樹

岡本　上田さんは、現在、アジアでたいへん活躍されていますね。

上田　ぼくらの世代は、ビートルズをリアル・タイムで聴いていましたから。海を越えるというのは、ひとつのテーマなんです。アジアのシンガーはとてもすぐれていますよ。ひょっとしたら、アジアで音楽がいちばん遅れているのは日本かもしれませんね。

岡本　具体的に、どういった活動をされているんですか。

上田　インドネシアやマレーシアなどのシンガーとコラボレーションをしています。うれしかったのは、インドネシアのR&Bの第一人者、ReZaさんとのデュエット曲が、十五週連続ヒットチャート1位になったことですね。



上田正樹がコラボレーションした、アジアのシンガーたち。

上田正樹／ミュージシャン。1974年、伝説のスーパー・バンド「上田正樹とサウストゥサウス」を結成。2年後の解散ののち、ソロとしてリリースした「悲しい色やね」が大ヒット。ソウルフルなボーカルで、根強いファンも多い。84年のスライ&ロビーを皮切りに、BB KINGやジュニアウエルズなどの世界的なアーチストとの競演も多数。アジア音楽界で、その動向が注目されているひとり。5月26日には、日比谷野外音楽堂でブルース・カーニバルが開催される。



上田正樹の活躍を報じる現地の雑誌

岡本　それはすごいですね。

上田　海を越えて踏みだせた、という自信が少しできました。

岡本　完全に、アジアの一員としての活躍ですね。

上田　インドネシアは、音楽をやる意味合いが日本と全然ちがうんですよ。はじめて民主主義が確立しましたし、そういった状況のなかで自由に歌えるというのは、シンガー冥利に尽きます。

岡本　インドネシアの方は音楽が好きですからね。

上田　ソウル・ミュージックには、人を解放にむかわせるパワーがあるんですよ。

岡本　「悲しい色やね」のブルースの迫力には圧倒されました。

上田　ブルースというのは、音符に書けないものを表現しようとしています。以前、レイ・チャールズさんと対談したのですが、「あなたにとって音楽とはなんですか」と聞いたら、「おれの血みたいなものだ」とおっしゃいました。

岡本　体に染み込んでいるということですね。

上田　血がそうさせているという部分はとても大きいですね。音楽は、アイデンティティをふくめ、完全に気持ちからきているものですから。

岡本　ブルースに、関西弁というのは非常にあうんじゃないですか。ネトッとしたところが（笑）。

上田　ブルースのルーツであるアメリカ南部の発音に似ているので、情感を伝える部分で、とてもあっていると思います。

岡本　「悲しい色やね」は、これからスタンダードとして残る、数少ない日本のブルースですね。

上田　アジアでカリスマ的なラップ・チームといっしょに、英語で歌ったこともあります。世代を超えて歌い継がれるというのはうれしいです。

岡本　最近の曲は、どんどん都会的なサウンドになっていますね。

上田　音楽というのはカタチではありませんが、どんどん変わっていくと思います。これからは、日本人というのではなく、アジアのなかの一員だという意識が必要でしょうね。アジアは世界でいちばん人口が多いので、そろそろビートル

ズのようなヒーローが出てくると思います。国や人種、文化を超えて、愛される歌をこれからもつくりたいですね。

求めるのは、いつも本物

岡本　上田さんもジッポーをご愛用いただいていますね。何歳ぐらいからタバコは喫われているんですか。

上田　喫ってはいけないころから喫っていました(笑)。三十年以上、ミュージシャンとしてやってきていますから、音楽にはとてもこだわりがありますが、逆にモノにはこだわりはありません。しかし、ジッポーは例外のひとつですね。

岡本　ありがとうございます。

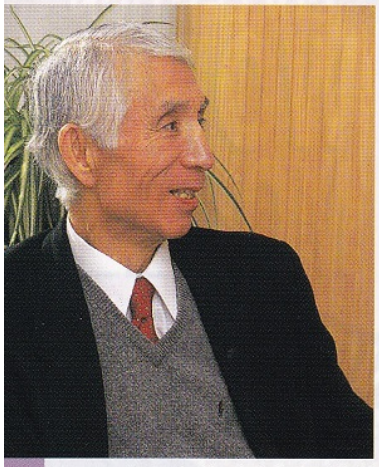
上田　最近の日本は、本物が蔑ろにされつつあると感じます。ジッポーでいえば、百円ライターですよね。R&Bやブルースの世界でも、オーティス・レディングやレイ・チャールズのような本物のすごさがあるにもかかわらず、身近な和製R&Bですませている……。

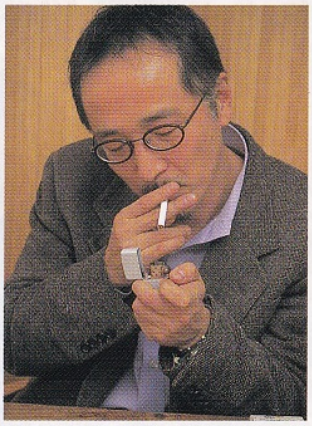
岡本　本物を求める気持ちが、希薄になってきているんですね。

上田　ジッポーにもつくった人のプライドが感じられます。いつも人にあげてしまうんですが、音楽と同じで、本当にいいものであれば、みんなでそれを楽しめばいいんですよ。

岡本　以前、テレビで上田さんのジッポーが鑑定されているのを拝見しましたが、あれはどこで手に入れられたんですか。

上田　あのジッポーは、友だちに「やるよ」と言われて、もらったものなんです。一九三四年製ですが、鑑定で二十万円の値段がついたときは驚きました。


ジッポー社日本代表／岡本信義


ジッポーで着火する姿も「本物」

岡本　それはすごいですね。

上田　その友だちは、奈良で「セーリング・バー」という会員制のバーと、シガー・バーを経営しているんですが、本当にこだわりのある人なんです。ぼくがまたそのジッポーを誰かにあげることを知っていて、彼はくれたんですけど。いまは、ぼくの親友のところにあります。

岡本　ジッポーが友だちの間を行き来しているわけですね。

上田　そうやって、みんなが楽しめればいいと思います。また何年かしたら、ぼくのところに戻ってきますよ(笑)。

岡本　壊れたら直しますので、ぜひおっしゃってください。

上田　ジッポーのそういうところが好きですね。

岡本　アメリカというのはおもしろい国で、一方で最先端のものが発達するかと思うと、古いものも本当に大切にしていて、いつまでもそのまま残そうとするんですよ。

上田　ブルースやR&Bもすごく大事にしています。大人が中心になって楽しんでいて、その世界には子どもがいません。大人が文化をつくる、熟した国だなぁと思いますね。

岡本　層が非常に厚いから、また新しいものも出てきますし。

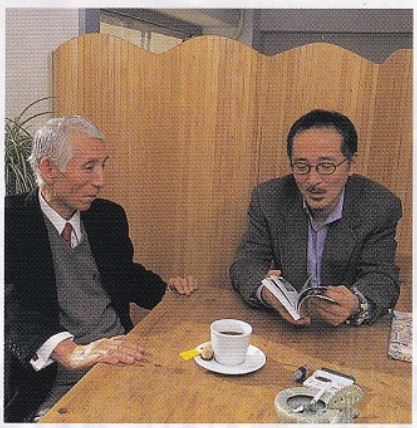
上田　日本がちょっとダメになったのは、子どもに媚びへつらいすぎですね、とくに音楽は。ブルースやR&Bはものすごく長い歴史があって、それが脈々と受け継がれていて、いい意味でのピラミッドができているんですよ。日本にはそれがありません。

岡本　日本人は、外国のマネをするのはうまいんですけど、本当に自分のものを出すというのは苦手ですからね。

上田　日本はそれですんでしまうんですよ。ちょっとカラオケがうまい子が、いきなり何億も稼ぐシステムになっているんです。ぼくたちはそういった流れとはまったくちがうものをつくっています。

岡本　共鳴される方も大勢いらっしゃるでしょうから、時間がかかっても、ちゃんと結果に結びつくと思います。

いい音楽があふれる国へ


「ZIPPO HANDBOOK 2001」を楽しそうに見ている上田氏

岡本　上田さんのご出身地はどこですか。

上田　生まれは京都です。高校時代に岐阜へ転校して、そこでドロップ・アウトしました(笑)。

岡本　シンガーになるという夢は、いつごろからもちはじめたんですか。

上田　十七歳のころから、絶対になるんだと思っていました。しかし、当時はその夢に市民権がないわけですよ。まわりには不良になったと言われ、親にも大反対されて。でも、音楽をやらなければ、自分がなくなるっていうぐらいの危機感をもっていたので、それ以来、ずっと音楽をやっています。また今度、アジアの人たちを呼んで、みんなでライブをやるんですよ。

岡本　アジアのみんなが集まって、グラミー賞を取るぐらいの流れをつくるわけですね。アジアでやるようになったきっかけはなんですか。

上田　じつは何年か前に音楽をやめようと思った時期があったんです。それを、プロデューサーでもある家内に言ったら、「やめるのはいいけど、その前に、これを聴いてごらん」と、何枚かアルバムを渡されたんです。アジアでR&Bをやっているシンガーのものなんですが、あまりのうまさにすごく驚かされましたね。もちろん、ルーツはアメリカにあるんですが、アジアでこれをやったら、独特の、ひとつのジャンルができると思いました。ぼくたちのレコード会社の、「Asian Music Standard」という名前もそういう想いからつけました。

岡本　日本には、すぐにでも海外でやれるミュージシャンは少ないんじゃないですか。

上田　そうですね。レコード会社というのは、ミュージシャンを日本のなかだけで縛りますから。ちがう道を選んだ自分にはすごく満足しています。

岡本　個の確立に役立ったわけですね。

上田　ぼくらが地に足をつけて、本当の意味でいい音楽をつくっていくしかないと思います。

岡本　いまは、若い世代のために、道をつくっているかんじですね。

上田　もう二十一世紀ですから、そういう方向になってほしいですね。ぼくの信念ですが、いい音楽が世の中にあふれれば、絶対にいい国になると思います。

(二〇〇一年一月二十四日／東京・代官山にて)


岡本代表からプレゼントされたジッポーと、愛用のタバコ

ZIPPO LIGHTER COLLECTION

WORLD MODELS

NEW 2001

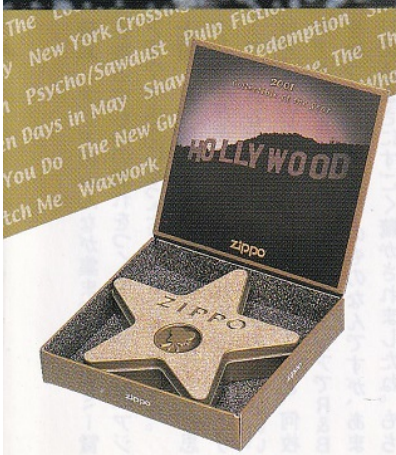
2001 ジッポー・ライター新製品ガイド

そのときスターは、ジッポーを手にした。

C01 NEW
本年度限定製作ライター
特製スター缶入り
7,500円

Hollywood's Leading Light

2001 Collectible of the Year



ハリウッド・スターを支える名脇役。二〇〇一年度版コレクティブル・オブ・ザ・イヤー。



フランク・シナトラからブルース・ウィリスまで、三〇〇本を超える映画で、ハリウッド・スターたちと「共演」してきたジッポー・ライター。

二〇〇一年度版コレクティブル・オブ・ザ・イヤーのテーマは、ハリウッド。世界中のすぐれたスターを称えるウォーク・オブ・フェームを彩るピンクテラゾの星が「ハリウッド・リーディング・ライト」(C01／七、五〇〇円／特製スター缶入り)のクロワゾンネ(七宝)のエンブレムと特注の缶に復元される。今年度コレクティブル限定の最新ゴールド・ダスト仕上げ。

多くの映画スターに愛用され、華々しい表の生活からプライベートまで、そのすべてを見てきたジッポーをあなたの手に——。

頑小物 No.5

ジッポー・オイルの話

文・きとうひろし（Collector/Historian）



友人と喫茶店で会話をしていたときのことである。3本目の煙草に火をつけようとした彼のジッポーはオイルがなくなってしまった様子で、何度もフリント・ホイールを回すが、一向に着火する気配はない。おもむろに僕のジッポーで素早く煙草に火をつけたあとで「クソッ、こんな時間からガス欠かよ」と小さくつぶやいた。「オレのオイルを少し分けてやるからジッポーを貸しなよ」。キョトンとした彼の手から僕は素早くジッポーを奪い取りキャップを開け、中にあるインサート（着火ユニット）を取りだし、同時に僕のジッポーからもインサートを取りだして、2つをテーブルに並べた。僕はある方法を使って、手早く彼のインサートへオイルを移動させ、両方のインサートをテーブルの上の紙ナプキンでキレイにふき取ってお互いのケースに戻し、彼にジッポーを返した。「ふーん、この手を使えば、いつガス欠になっても大丈夫だな」。自分のジッポーで4本目の煙草に火をつけたあと、彼は少しだけ感心した様子だった。「いや、偶然だよ。じつはジッポーのオイルを昨夜補充したばかりだったからできたんだ。明日だったらこんなにうまくいかなかったよ」。

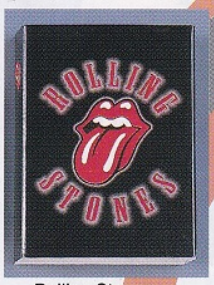
ジッポーを使うためにはジッポー・オイルをまめに補充しなければならず、それが面倒で仕方ないというユーザーもいることだろう。しかし、手間がかかるからこそ「自分の道具」としての実感がわくのではないだろうか？　給油のたびにティッシュ・ペーパーでインサートをついでに軽く磨いてやるだけで、チムニー外側に黒い煤が付着することはまずない。

先に書いた方法は偶然が重ならなければ披露できないが、ずっとジッポーを愛用していれば、そんな機会が必ずやってくるはずだ。そんなことを小さな楽しみにしながら、僕はジッポー・オイルの先端にある小さな赤いスポウト（注入ノズル）を毎週そっと持ち上げている。

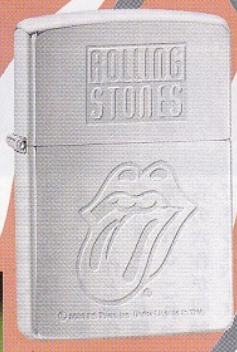
①No.207RS102 Rolling stones Surprise／6,000円
②No.200RS100 Rolling stones／5,200円
③No.218RS101 Rolling stones Established 1962／5,200円

ROLLING STONES series

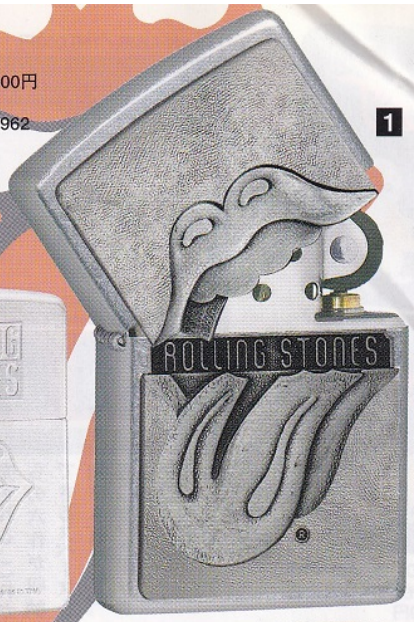
生涯、現役を貫く彼らの魂が、ジッポーと共鳴。



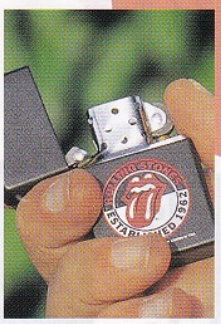
Rolling Stones Custom Sleeve



2



1


3

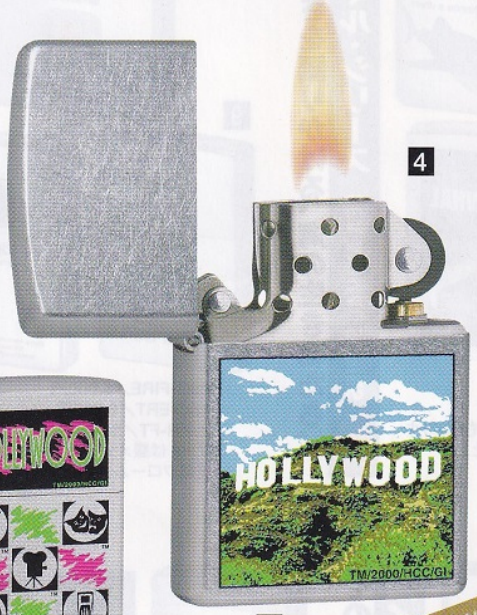
一九六二年七月十二日の活動開始以後、つねにロック界の頂点に君臨しているバンド。メンバーは五十代、六十代とは思えないバイタリティーにあふれ、世界中に熱狂的なファンをもつ。今回のシリーズは、ブラッシュド・クローム、ブラック・マット、ストリート・クローム仕上げで、彼らのシンボル・マークである"舌"がデザインされている。



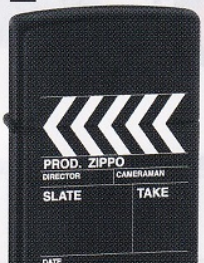
HOLLYWOOD ICONS series

夢と伝説が生まれるハリウッドを、いつもそばに。

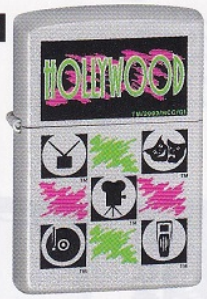
映画界の頂点に立つべくめざす地、ハリウッド。ここで生まれる映画は、わたしたちに夢を抱かせ、勇気を与え、そして自ら伝説となっていく。そんなハリウッド映画に魅了されたジッポー・ファンに、今回、垂涎の逸品が誕生した。ハリウッドを象徴するアイコンが多彩なデザインで描かれている。炎を灯すとき、あなたが主役の映画がはじまる——。



4



6

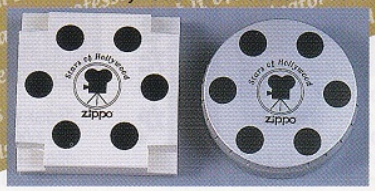


5



7

④No.207HW102 Hollywood Hills／5,300円
⑤No.205HW100 Hollywood Icons／5,300円
⑥No.218HW101 Clapboard／5,300円
⑦No.218HW103 Walk of Fame／5,300円

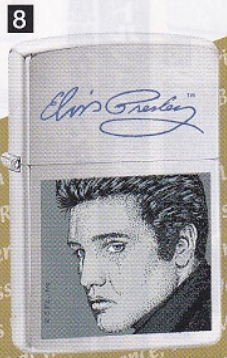


Hollywood Series Custom Sleeve

HOLLYWOOD LEGENDS series

ハリウッドの伝説、エルビス・プレスリー、ここに甦る！

「ジョン・レノンが、まだ生きているという話はないが、プレスリーが、まだ生きているという話は毎年必ず出る」（ビートたけし編集長「コマネチ！2」より）。"自由の女神と心中した男"といわれるプレスリーが、ジッポーで新たなる伝説を刻みはじめる。



8

⑧No.200HW105 Elvis Presley／6,000円

※12・13ページの商品のお問い合わせは、伊藤商事（株）☎03-3562-5811、マルカイコーポレーション（株）☎06-6443-0072まで。

ZIPPO LIGHTER COLLECTION JAPAN MODELS NEW 2001

2001 ジッポー・ライター新製品ガイド

21世紀も、ジッポー・デザインは日本から。

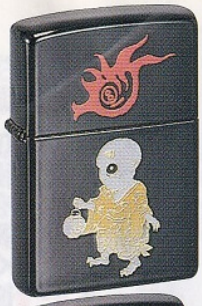
和と心と、アメリカン・スピリッツの融合。ジャパネスク JAPANESQUE



①2LAN-LIM6／150,000円

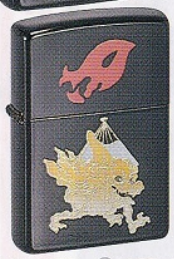
限定十二支

その年の干支だけにつくられる「梨子地塗本金蒔絵」は、ことし発売六年目を迎える。これを記念し、前五作と新作の六点セットが発売される。これからの六作が収納できるスペースも用意されている。五〇セット限り。



2

妖怪



3

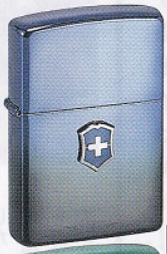
②2ASP-HITO　③2ASP-ONI
※各モデルともASP(全面塗装)加工・7,000円

ジッポーとビクトリノックスの機能的名コンビ、誕生。ジッポー&ビクトリノックス ZIPPO&VICTORINOX SERIES



スケルトン・ボディのビクトリノックスと、グラデーション塗装を施したジッポーが、"道具をもつ楽しさ"を感じさせる。

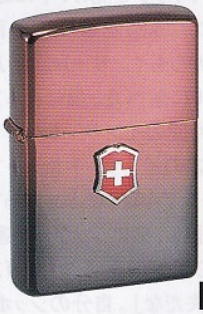
4



5



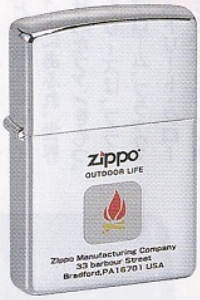
6





④2ZV-RM　⑤2ZV-BM　⑥2ZV-GM　※各モデルとも10,000円

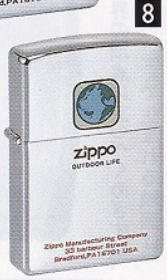
アウトドアを愛する人のステイタス・ジッポー。アウトドア・ライフ OUTDOOR LIFE



7



9



8

⑦2SC-FIRE／6,000円
⑧2SC-ERT／6,000円
⑨2JKR-FT／5,000円
※⑦・⑧は銀メッキ・ポリッシュ仕上げ
⑨はクロームメッキ・ブラッシュ仕上げ

自然の大切さを語りかける、海の生き物たち。シー・アニマル・シリーズ SEA ANIMAL SERIES



10



11

⑩2SC-WS
⑪2SC-IKK
※各モデルとも銀メッキポリッシュ仕上げ・6,000円

ジッポー・デザインの新しい世界を築く逸品。サイケデリック・シリーズ PSYCHEDELIC SERIES



12



13

⑫2P-FLG
⑬16P-FLB
※各モデルとも6,500円

シンプルさと遊び心が魅力のピクト・デザイン。ピクト・サイン・シリーズ PICT SIGN SERIES



14



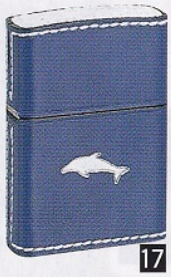
15

⑭2SC-SURF
⑮2SC-SKATE
※各モデルとも銀メッキポリッシュ仕上げ・6,000円

イルカのもつ不思議な魅力が、ジッポーに宿る。マリン・シリーズ／ドルフィン MARINE SERIES DOLPHIN



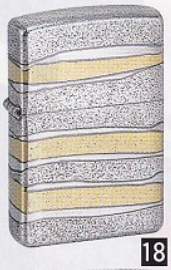
16



17

⑯2ZL-DLW／6,500円
⑰2ZL-DLB／6,500円
※掲載モデルは革巻き

多彩な表情を、金属だけでつくりだしたモデル。コンビネーション・プレート・シリーズ COMBINATION PLATE SERIES



18



19

⑱5SI-WAVE／12,000円
⑲5SI-FW／10,000円

そのコインは、何人の手を旅してきたのか。コイン・シリーズ COIN SERIES



20



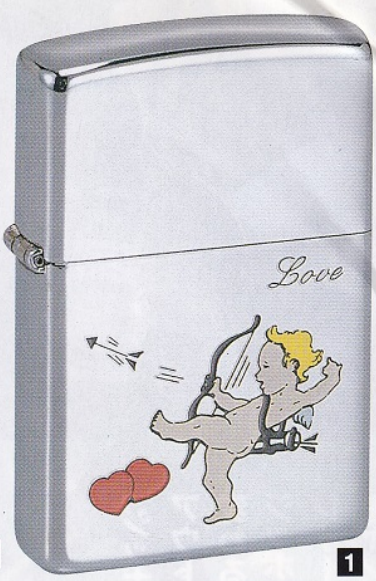
21

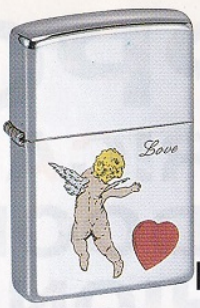
⑳202-1D／ニッケル古美仕上げ
㉑205-NK／真ちゅう古美仕上げ
※各モデルとも6,500円

※本ページの①～㉑までのお問い合わせは、マルカイコーポレーション(株) ☎06-6443-0072まで。

愛を伝えたい人にこそ贈りたい。
キューピット・シリーズ CUPID SERIES

愛にも、ジッポー同様、いろいろなカタチがある。キューピットがあなたにかわって、愛する人のハートに炎をともす。



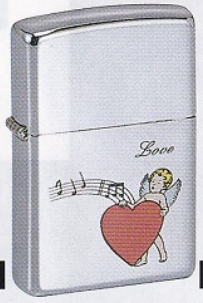


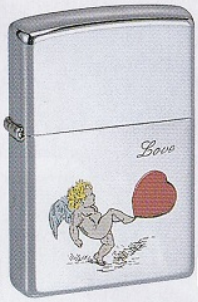












No.250
①キューピット／アロー　②キューピット／グラス　③キューピット／ハート　④キューピット／ウイング　⑤キューピット／キックハート　⑥キューピット／ミュージカル
⑦キューピット／アンブレラ　⑧アイ　※各モデルとも4,800円

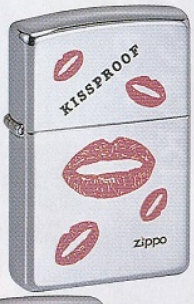
ハートをくすぐる、おしゃれなデザイン。
ハート・シリーズ HEART SERIES

くちづけあり、孤独なハートあり、多くのハートに囲まれるハートあり。いまの自分にぴったりのハートを選びたい。











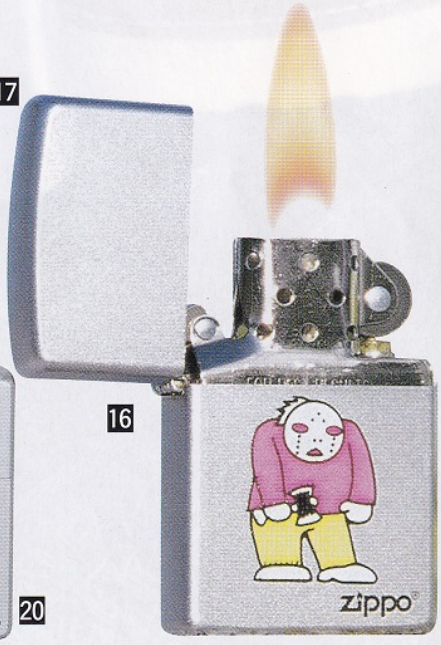




No.250
⑨リップ
⑩ハート
⑪ハート（No.1610）
⑫ローズラブ
⑬オンリーユー
⑭ジッポーラブ
⑮バニーガール
※各モデルとも4,800円

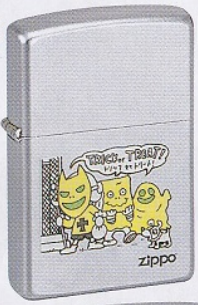
ユーモアあふれるモンスターが、暗闇に浮かびあがる。
205 サテンクローム・ライター蛍光色シリーズ
SATIN LIGHTER OF FLUORESCENCE SERIES

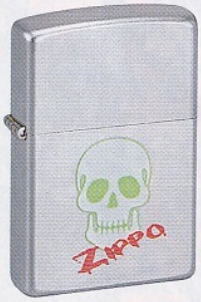
幾多の人間を恐怖におとしいれてきたモンスターたちが、ジッポーに出現。暗闇に浮かびあがる姿が、ユーモアたっぷりだ。

















No.205
⑯マン　⑰トリック／トリート　⑱カカシ　⑲ミイラ　⑳マジョ　㉑モンスター　㉒パンプキン　㉓ドクロ
※各モデルとも4,600円

※本ページの①～㉓までのお問い合わせは、伊藤商事（株）☎03-3562-5811まで。



ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2001

「It works」――変わることのない哲学。確かに受け継がれたその機能こそが、ジッポーの証。

「ジッポー・アメリカン・アウトドア・ファッションズ」――変わることのないジッポー哲学を受け継ぐアイテム群。レザー・グッズ、時計、サングラス、キャンピング・ギア、帽子、ベルト、靴。その確かな機能性とファッショナブル性は、ジッポーを超える。

OUTDOOR SHOES

格好だけの靴はいらない。
アウトドア・フィールドでは高い機能を誇りたい。











●アウトドア・シューズ
①ワラビー・ブーツ No.6900／7,800円（マッケイ製法、カラー：ベージュ・ダークブラウン・グレー）
②ワーク・ブーツ No.5723／6,900円（グッドイヤー・ウェルト製法、カラー：ブラック・レッドブラウン・ライトブラウン・サンドベージュ）
③キャンピング・サンダル No.2129／4,900円（セメント製法、カラー：ブラック・ダークブラウン＜レザー＞）
④リゾート・サンダル No.703／2,900円（セメント製法、カラー：ブルーグレー・グレー・ネイビー・ワイン、アウトソールにノンスリップゴム使用）
問東邦レマック（株）
☎03-3834-4265

LEATHER GOODS

飽きるほどに、使い込む。
それは、きみ以外にもつことを許さない逸品になる。

●財布
①ZP-55／2,800円（牛革製）
②ZP-61／3,800円（牛革製／ライター・ケース付／ライター別売）
●ポーチ
③ZP-60／2,000円（牛革製）
④ZP-63／5,000円（牛革製）
●フラスコ
⑤チタンフラスコ／12,500円
（Lサイズ／鹿／170cc）
問ヨシナガ（株） ☎03-3864-3834

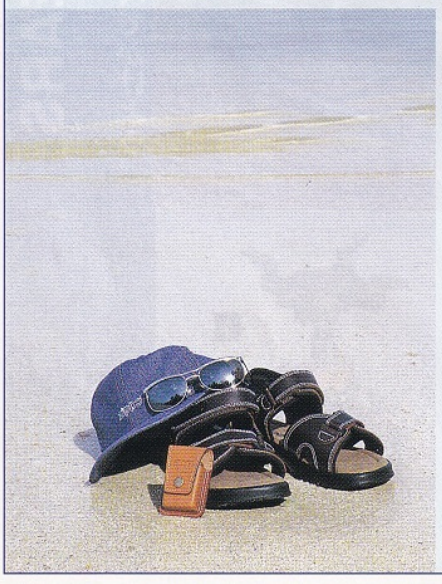












ZIPPO AMERICAN OUTDOOR FASHIONS 2001





HATS & CAPS

「守る」という機能を、お洒落に身にまとう。
アウトドアがもっと好きになる。











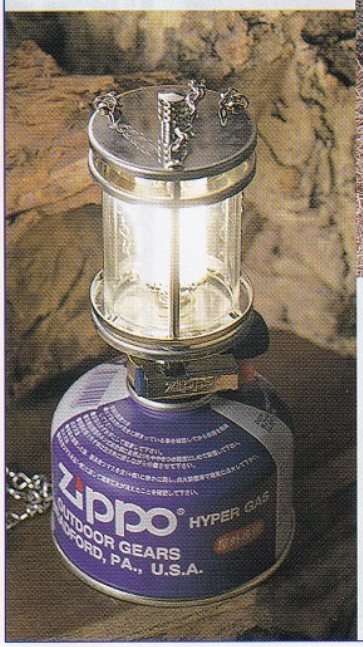
●キャップ
①キャップZP264／2,300円（素材：ストレッチツイル、カラー：ベージュ・黒、サイズ：フリー）
②キャップZP261／1,900円（素材：デニム、カラー：ベージュ・紺・黒、サイズ：フリー）
③キャップZP263／1,900円（素材：ツイル、カラー：ベージュ・アイボリー・黒、サイズ：フリー）
●ハット
④サハリZP260／2,500円（素材：デニム、カラー：ベージュ・紺・黒、サイズ：M・L）
⑤サハリZP262／2,300円（素材：ツイル、カラー：ベージュ・アイボリー・黒、サイズ：M・L）
問中央帽子（株）　☎06-6972-8881

OUTDOOR GEARS

ジッポーといっしょに、
過酷なアウトドア・フィールドへでかけよう。

①WPS-Sガス・ストーブ
パワー、安定性、使いやすさがさらに進化。使う場所を選びません。
10,500円／最大出力4,200kcal
②WPSガス・ストーブ
独自の新技術を搭載した、ガス・ストーブのフラッグシップ・モデル。
7,500円／最大出力4,000kcal
③Zero-iランタン
1/3の燃費で、大型ランタン・クラスの明るさ。強力な光が、暗闇を照らします。
7,500円／160W相当





④ポケット・ストーブ
世界最小・タバコサイズを実現した、クラス最強のアウトドア・ストーブ。
6,500円／最大出力2,700kcal
⑤キャンピング・グリル
強力な火力と耐久性を実現した、ジッポーが生んだ世界最強のグリル。
グリルのみ／35,000円
バッグ付き／40,000円
問興栄工業（株）　☎03-3800-5720





WATCHES

時を刻む時計か、時を積み重ねる時計か。
そのちがいが、ジッポー。



●ウォッチ
①オートマチック・ウォッチMCN-1／20,000円
（チタン材、10気圧防水）
②ハンギング・ウォッチ・ビームライト付FL-3／10,000円

●クロック
③ジッポー・クロックTIME BOSS／5,500円
（アラーム付き）

●ウォッチ付きジッポー
④時計付ジッポー・ライターTL-13／10,000円

問（株）ヒューマンフレーム　☎03-3870-3111

SUNGLASSES & FRAMES

ワイルドを演出するならサングラス、
ジェントルを演出するなら眼鏡フレーム。



●サングラス
①ZP-300-1／3,900円
②ZP-304-1／3,900円
③ZP-305-1／3,900円
④ZP-201-1／2,500円
⑤ZP-204-1／2,500円
⑥ZP-205-1／2,500円

●眼鏡フレーム
①ZP-120／19,000円
②ZP-121／19,000円
③ZP-124／19,000円

問（株）サンリーブ
☎0778-52-1330

BELTS

ジッポーの愉しみを知りつくした、
大人のためのベルト・コレクション。



●布製ベルト
No.1581／各800円（カラー：生成・紺・ベージュ・モスグリーン・黒）

●合成皮革製ベルト
①ZP-1502／1,500円
②ZP-1901／1,900円

問（株）ファンス　☎06-6768-2831

Zippo Art of Taiwan

打火機在台灣

世界中で大勢のファンをもつジッポー・ライター。その魅力はジッポーの実用性、美しさ、そしてアフターサービスにある。手にのせても大きくなく、ポケットに入れても重くなく、実用性が高い。そのうえ、コレクションの価値もある。それが、ジッポー・ライターだ。

これまでジッポー社では、みずからのデザインだけでなく、世界中のデザイナーの提案を受け入れている。ベースは初期の黄色の銅色以外ほとんどは銀色のライターだが、カラフルなデザインも少なくない。読者のみなさんのなかでも多くの方たちが、台湾の店で実際にジッポー・ライターを目にしたことがあるだろう。台北で喫煙具店「宇峰煙具」を経営される林裕翔社長をお招きし、ジッポー・ライターについてうかがった。



雑誌のZIPPO特集

――当初、どんなきっかけでジッポー・ライターのデザインをはじめたのですか。

林　外国人デザイナーがデザインした、軍隊のバッジがついたジッポー・ライターを見て、おもしろいと思ったんです。その台湾版があったらいいなと思ったわけです。

――日本デザインのジッポー・ライターはめずらしいんでしょうか。

林　日本は海外にも輸出しており、ひとつの図案のライターを約一、〇〇〇個生産しています。われわれは台湾だけでセールスしていますので、ひとつのデザインは二八八個しか生産していません。ある意味で、日本の製品よりもっとめずらしいんですよ。

――林社長は美術学校のご出身ですね。デザインについてうかがいたいのですが。

林　アメリカのジッポー本社は、デザイナーの考えや図案を大切にしているので、ほとんどそのまま採用してくれます。当初、そういうことを知らなかったので、本社からいろいろな指示がきて、何度か修正をするものと考えて、手書きの草案を送ってしまいました。すると、文字までその手書きのまま製品になったものが送られてきました。ですから、現在はきちんと文字は活字にし、デザインはカメラで写真を撮ってから本社に送るようにしています。

――軍隊の図柄を選んだのはなぜでしょうか。

林　非常に簡単な理由です。記念の品として、市場性があると考えました。そして記念品というと、つねに持ち歩けるものが一番だろうと。ライターならそのうえ、入隊の年月日、除隊の年月日も書くことができますし、記念品にぴったりだと思いました。

――台湾市場には、たとえばどんなデザインのジッポーがありますか。

林　それは、製造技術に関する問題になります。アメリカ本社が使っている技術は腐食凹凸法です。一部、台湾でもつくっていますが、そのジッポー・ライターにはレーザー法と彫刻法の生産技術が使われています。

――これまで林社長がデザインされたもので、なにか変わってきたことはありましたか。

林　初期は、陸・海・空軍のバッジ・デザインが中心でした。戦車を操縦していた戦士にとって一番の思い出は戦車ですから、戦車のデザインもつくりましたし、そこに文字の説明書をくわえたりもしました。また、最近では、複雑な人物像や石の模様のデザイン、色もつけたりしています。コレクション性を高められるよう、いろいろなバージョンを考えました。ジッポー・ライターの色づけについてひとこと言いたいのですが、本社はもともとのデザインに使われた色を、そのままではなく、ライター全体を見て、よりインパクトを与える色使いに変えて製品にしてくれます。そこがすばらしい。

――そのほか、ジッポーの特色があれば教えてください。

林　一番の特徴は、アフターサービス。ジッポーの永久保証です。保証書をつければ、どれだけ使ったジッポーでも必ず使えるように直してくれます。



右／海軍の巡洋艦1101号柄
左／陸軍野外訓練のデザイン柄

台湾のミリタリー雑誌「TARGET」創刊号（EVER TARGET社）より抄訳



「戦略経営者」（右）　「究極のサービスが見たい！」（左）

永久保証哲学が各誌で話題

「戦略経営者」（二〇〇〇年十一月号／株式会社TKC刊）、「究極のサービスが見たい！」（戸田覚著／ダイヤモンド社）に、ジッポー社が取りあげられた。どちらも、ブランド構築のためのサービスとして、永久保証を高く評価している。

永久保証の日本市場への導入については悩んでいたと、岡本代表は当時を振り返る。永久保証が、買い換え需要をつぶすことになるからだ。しかし、導入の先に待っていたのは、修理すればするほど売れる、という現実だった。修理にかかるコストについても、「広告費の一部として考えれば安いものです」と語っており、簡単には壊れないことへの自信もうかがわせている。

そのほかにも、永久保証がはじめられたエピソードや、世界をリードする日本市場の動き、今後の展望など、ジッポー社の魅力があますところなく綴られている。ファンならぜひチェックしたい。

ジッポーがクライマックスで…
映画「アタック・ザ・ガス・ステーション」

ジッポーが「出演」した映画は数多い。ことし公開された「ハート・オブ・ウーマン」（監督／ナンシー・メイヤーズ）では、メル・キブソンがカチン、シュパッ！

ことしのゴールデン・ウィーク公開のコリアン・ムービー「アタック・ザ・ガス・ステーション」（松竹配給・監督／キム・サンジン）では、人気スターのイ・ソンジュ、ユ・オソンが手にする。

この作品は大ヒット作「シュリ」を追い越す勢いで、すでに韓国では三百万人の新世代の観客を動員している。ジッポー党には、なんといってもラスト・シーン。若者四人がガソリン・スタンドで、ライター着火。風にゆれる炎。さて、その後は、いかに？

アタック・ザ・ガス・ステーション！



右から2番目がイ・ソンジュ、左端がユ・オソン（写真／松竹提供）

舞台「心ひそかに」に、ジッポー登場

ジッポーが、いよいよ舞台にも姿をあらわした。

二〇〇〇年九月十八日から二十日まで、東京・博品館劇場で上演されたミュージカル「心ひそかに」（構成・演出／高平哲郎）は、甲斐京子演じるダンサーと精神医との会話からはじまる。彼女は、心のなかに棲みついた「もうひとりの自分」に苦しんでいた。幼いころの両親の離婚や、愛する彼の死などの厳しい現実を受けいれることができず、いまの自分にないものばかりで、正反対の理想の自分をつくりあげていたのだ。

ジッポーは、マッチを使っていたヘビー・スモーカーの彼へのプレゼントとして登場する。「あたし…何度もジッポーの音で目を覚ましたわ」というセリフからも、彼がそのジッポーを愛用していたことがわかる。その後の、精神医とのやりとりでも「ジッポーの男」というセリフが何度かある。

彼を想いだすキー・アイテムとしてのジッポーが、舞台でもひときわ印象的なシーンをつくりだしていた。



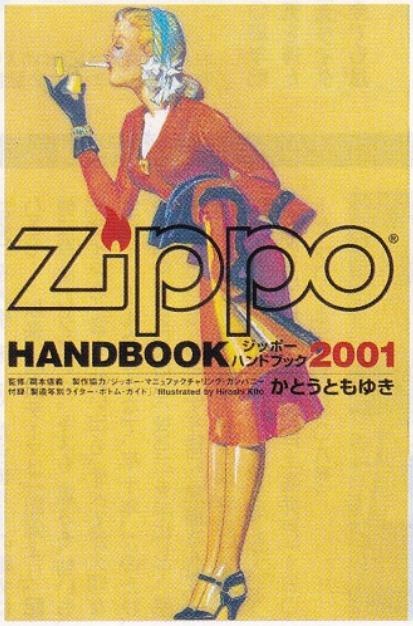
「ジッポーハンドブック2001」発売開始

「ジッポー・ハンドブック1990」から十年。第二号を、心から待ち望んでいたファンも多いことだろう。しかし、ついに「ZIPPO HANDBOOK 2001」が本年一月に完成した。「ファンのトータルな手引きになることを心がけた」と著者のかとうともゆき氏が語るように、オール・カラーで見やすさも格段に向上している。

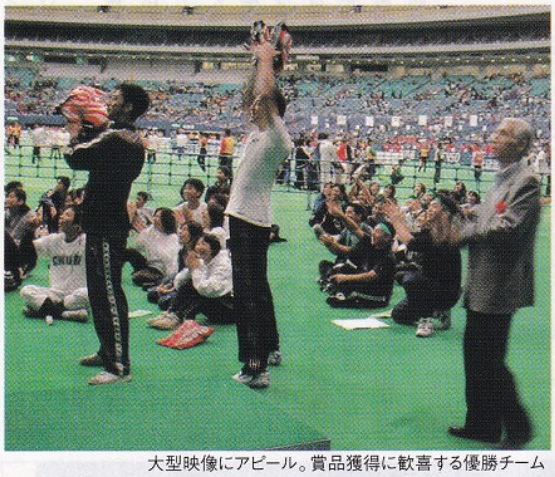
内容は、ジッポー社の変貌、コレクション、デザイン、エピソード、ファッション・ギア、ガイド&データがわかりやすく構成されており、写真点数は七〇〇点におよぶ。そして特別付録として、製造年別ライター・ボトム・ガイドも収められおり、一九三三年からのボトム刻印が掲載されている。その作成協力は、きとうひろし氏。

約七十年の歴史やジッポーの魅力だけでなく、ジッポー社のこれからを知るうえでも欠かせない一冊になることはまちがいない。

ご購入は有名喫煙具店、デパートなどの喫煙具コーナーで。最寄りにない場合は、ジッポー・サービス名古屋（裏面参照）にハガキでお申込みください。



著者／かとうともゆき
発行／岡本トレーディング（株）
B6判変型オール・カラー
／352ページ／2,200円（税別）



大型映像にアピール。賞品獲得に歓喜する優勝チーム

ドッジボール大会、大盛況のうちに終幕

昨年十一月十二日、ジッポーがオフィシャル・スポンサーとなった「第四回BIGドッジ2000 inナゴヤドーム」が開催された。

ジッポー杯トーナメントでは各チームが熱戦を繰り広げ、「イースター2」（愛知県安城市）、「守谷パワーズ」（長野県長野市）、「島田倶楽部」（愛知県蒲郡市）、「BIG KOZIMA#3」（岐阜市関市）の四チームがZIPPO賞への入賞を果たした。

また、日本で初公開されたジッポーのCM「ナイト・ウォッチマン」も放映され、ジッポー・ブランドのイメージ構築に大きく貢献した。

ジッポーとともに

赤須 文男
（伊藤商事株式会社 常務取締役）



はじめに、ジッポー・ライターを愛好してくださる多くのみなさまに感謝いたします。

私がはじめてジッポー・ライターに出会ったときは、このように長い間、みなさまから支持されるとは夢にも思いませんでした。私の人生の中でこんなにもすばらしい商品に巡り会えたのも、天が私に与えてくれた恵みだと思います。

さて、ジッポー社も来年には創立七〇周年を迎えることになります。これだけ長い期間、同じ型のライターが売れるということは、品質と、手に持ったときのフィット感、そしてライター表面にその時代に合わせた加工が施されることにより、新しい感性を表現することができたからだと思います。

一九六〇年代後半、ジッポーを取扱いはじめたときは為替もまだ三六〇円の固定相場の時代で（当時からNO・200は二、四〇〇円）、国内の喫煙具業界は輸出の最盛期でもあり、ジッポーのようなオイル・ライターは相手にしてもらえませんでした。そのような時代にあって、当時のファッション業界の先端を行っていたVANジャケットが「ジッポーはアメリカの小物ファッションの一流品だ」と言って、すぐに取り扱っていただき、「kent」と「VAN」の彫刻を入れたライターを全国のショップに展開してもらいました。また一九七〇年はじめには、VANの故大川副社長（当時）がラングラー・ジーンズの社長に就かれ、名刺代わりに「wrangler」の口ゴを入れたジッポーを全国のジーンズ店に配り、好評を得て、その後、各店から販売依頼があり、実績を上げていきました。

その頃から、喫煙具問屋さんからも取扱いの要望が多くなり、百貨店や時計店など多くの店で置いていただいたことを憶えています。当時は、ジッポー・スターリング・シルバーなどの高級品はすべて店頭課税がかかり、小売店でも限られた店しか置くことができない時代でした。そのため、多くの方から手頃な価格の銀製の商品を望まれ、再三にわたり、ジッポー社に日本国内で銀メッキ加工ができるようにお願いし、半年後にやっとジッポー社からその都度申請許可を受けることで承認されました。その好意に大変感謝すると同時に、ジッポー社の名前に傷をつけるような加工はできないと責任を感じました。

一九七五年秋には、米国大使館および商務省の協力で米国製品輸入業者四十八社に選ばれ、大々的に大手新聞社に広告で宣伝され、アメリカ建国二〇〇年記念ライターを販売した思い出も心に残ります。その後、当時の江崎通産大臣も参加された「ボーティック・アメリカ」では、米国商品を積んだ米国大型船が日本全国の主要港に寄港し、ジッポー社の販売部長であったフェセンマイヤー氏（当時）と苦労しながら合同で船上販売した思い出も忘れられません。



右／創業50周年記念ロゴ入りコメモラティブ・モデル
左／ボーティック・アメリカ記念ウルトラライト・スリム

一九八二年には、ジッポー社創業五〇周年記念ライターが販売され、爆発的な人気を得たこと、また一九九二年には六〇周年記念ライターの販売と、その時代時代のことが今でも思いだされます。

このように、私の人生の半分以上もジッポーとともに来られた、ジッポーの魅力とは何なのか。それは、ジッポー社が信頼を裏切らず、これほどまでに完成された商品を日々作り続けるジッポー社の歴史、そして、そこで働く人々の商品に対する愛情と自信だと私は思います。

これからも日本国内の多くの人々に理解され、愛され続ける商品であるよう、ジッポー社とともに日々努力していきたいと思っております。

コレクター登場

予期せぬ出逢い、長いつきあい。



渡部達也氏と智丈くん

時は湾岸戦争の最中、卒論のフィールド・ワークのために渡米。貧乏旅行のはて、帰国日に手持ちのキャッシュが底をつく。日曜日で銀行もアウト、しかたなくホテルの土産店で『へそくり万札』の両替を頼むと、「なにか買ってくれるなら、釣銭をドルで」……しかたなく物色。そして、目に入ったいちばん手頃なモノが『#250』だった。いざ使ってみると、これがかなり具合良く、そしてなによりもカッコイイ！（鏡にもなるし）

帰国後に、迷わず『ZIPPO HANDBOOK 1990』を入手。そして、たちまちその魅力にハマる……以来、収集テーマは「記録より、記憶に残るコレクション」。キズも、重さも、匂いも、デザインも、音も、想い出も、すべてが大切な宝物！　そんなこんなで、早十年。このたび、『ZIPPO HANDBOOK 2001』を手にして、感慨もひとしおである。十年後に、加藤さんが『三冊目』をつくるときは、ぜひ「手弁当」でお手伝いできればなんて、もう今から考えている。

（お便りは、東京都杉並区上高井戸一―三〇―七 プロミネンス芦花一〇八号）



紙上ジッポー・クリニック

シルバー・ライターの表面、きれいですか?

指導／遠島栄利（ジッポー・サービス）

シルバー・ライターは、その材質の特性から、長期間使用していたり、使用せずに放置していると、表面が黒ずんだりすることがある。この変色をきれいにする方法を今回は紹介したい。ただし、銀製品のなかには、表面に変色防止のコーティングが加工されているもの、金属の飾りが貼付されているものなどがあり、磨けない場合もあるので十分注意してもらいたい。また、磨き剤には各種あるので、お店の人によく相談して購入すること。

用意するもの



長期間の使用、放置によって変色した銀製品（スターリング・シルバー、銀アクセサリ付のブラス仕上げライター、銀製のペン）



ジッポー・オイル、やわらかい布2枚ほど、市販の銀製品専用の磨き剤、または磨き剤が塗布されている布、綿棒（細かい部分用）

ライター・ボトム刻印の変更

2001年から、ローマ数字による製造年表記が各年の下2桁に変更された。なお、製造月コード（1月＝A、2月＝B、3月＝C……12月＝L）はそのままである。



2001年1月



2002年6月



2003年12月



4 スターリング・シルバー、銀製のペンなども同様の手順で磨く。



3 ライター表面を磨く。ケース上部の汚れがとれているのがわかる。
※強く磨きすぎないよう注意する。



2 布に少量の磨き剤を塗布し、薄くのばす。



汚れがきれいにとれたことが一目瞭然



6 ジッポー・オイルを少量ライター表面につけ、磨き剤の残りを布でふきとる。



5 ヒンジなどの細かい部分は綿棒で磨く。

1 布に少量のジッポー・オイルを染みこませ、軽く表面を磨く。

ZIPPO SHOP TOUR

●東京 東急ハンズ渋谷店

〒150-0042
東京都渋谷区宇田川町12-18
1Aリストウォッチ・アウトドア用品フロア
☎03-5489-5111（代）



AM10:00～PM8:00
定休日／第2・3月曜日



当店の特徴は、客層の幅の広さ。おとうさんへのプレゼントをお選びの小学生のお嬢さんから、オールド・ジッポーをお探しの熟年の紳士まで、老若男女さまざまなお客さまにご利用いただいております。限られたスペースですが、みなさまにご満足いただけるよう、幅広く品ぞろえをしております。

商品入替のスピードがとても早いので、つねに新しいものがごらんになれます。渋谷にお立ち寄りの際は、ぜひ足をお運びください。

●東京 喫煙具専門店 ラ・ピエール

〒130-0022
東京都墨田区江東橋4-27-14
楽天地ビル1F
☎03-3632-2660
http://www.lapierre.co.jp/
mail office@lapierre.co.jp



AM10:00～PM7:30
定休日／水曜日



JR総武線錦糸町駅から徒歩一分、首都高速七号線錦糸町ランプから三分、都営新宿線住吉駅から徒歩十分と交通アクセスがよい、映画館八館を収容する楽天地ビルの一階にあり、昭和二十七年の創業以来、一貫して喫煙具を専門に扱っています。

店は小さく、在庫数は多くありませんが、業界やお客さまとのネットワークが資本で、商品の調達能力はトップ・クラスを自負しています。また、インターネット・ショップも六年目になり、日本全国はもとより、海外からの買い入れ、販売も行なっています。

●東京 上野アメ横 美都商事

〒110-0005
東京都台東区上野6-10-7
アメ横プラザ第一通路4号
☎03-3833-5280
http://www.ameyokomito.com/
mail zip@ameyokomito.com



AM10:00～PM6:30
定休日／毎月第二水曜日



ジッポーの価格激戦区、東京のアメ横で約三十年間、ジッポーを中心とした喫煙具を専門に販売しております。

常時、約二、五〇〇種類の豊富な品ぞろえと、最近はやりの大型ディスカウント・ショップを意識した激安価格設定により、たいへんご好評をいただいております。

昨年九月より開設したホームページは毎週更新される新着情報が見どころで、通信販売も承っております。メール、お電話などでお気軽にお問い合わせください。価格だけのお問い合わせも大歓迎です。

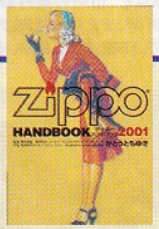
Zippo AN AMERICAN CLASSIC
ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE
ジッポー・ホットニュース・スペシャル2001春夏号
Vol.6

FROM ZIPPO



全米キャンペーンより

PRESENT ライターをお求めのチャンス!



Ⓐ ハンドブック



Ⓑ ビデオ「炎に賭けた男」

いま、ジッポー・ライターをご購入の方に、ごらんのオリジナル・グッズのうち1点を抽選でプレゼント。Ⓐ「ZIPPO HANDBOOK 2001」(B6判変型オール・カラー／352P／500名)Ⓑ創業者の生涯を描くビデオ「炎に賭けた男」(48分／300名)

★ご希望の方は、ライターに添付されている日本語版保証書のオイル缶イラストページ(写真右参照)をハガキに貼付し、住所、氏名、年齢、職業、電話番号、および希望商品(A、Bのいずれか)を明記のうえ、下記のジッポー・サービス(名古屋)までお送りください。5月末日消印有効。当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



ジッポー・サービスからのお願い

ジッポー社では、ライターの機能的な故障に対して、その状態、使用年数を問わず、これを無料で直します。ただし、当社への郵送にかかる費用はお客さまの負担です。ライター表面のキズ、へこみ、変色、メッキ不良、革のはがれ・破れ、摩耗、飾りメタルの取りつけ、および他社製ライターは修理できません。また交換部品、内部ユニットは新品を使用しますので、ご了承ください。



●修理を依頼するまえに

①着火不良は純正発火石、オイルが入っていないことによるものか、まずご確認ください。
②芯は消耗品、販売店で購入ください。装填方法は簡単で、内部の綿をすべて取りだし、芯を入れ、長さは風防ガード上部くらいに合わせます。残りを内部に詰めながら、バランスよく綿を詰めればOK。なお、綿は市販の布団綿、純綿でも代用できます。

●修理品の送付方法

①綿に残っているオイルは必ず抜き取り、完全に蒸発させます。
②郵送にはライター(化粧箱、飾り付属品、オイル缶、ギフトボックスなどは同封しない)をティッシュなどの緩衝材で包み、封筒を二重、三重にしてください。そのときテープを直接ライターに貼りつけないこと。(送付先／下記記載のジッポー・サービス)
③修理品とともに、必ず日本語併用保証書、故障個所などの連絡メモも同封ください。住所、氏名、電話番号をお忘れなく。記載もれのある場合は返却できない場合もあります。
④郵送以外の方法では受け付けできません(民間便は不可)。
⑤貴重品は簡易書留で郵送ください。

★ライターの正しい使い方

①オイル注入直後は、十分注意。入れすぎの場合は、ティッシュなどで必ず拭き取る。また、火気に注意してください。

★ジッポー・ライターの無許可加工および販売について

最近、無断でジッポー・ライターに有名ブランド・ロゴをつけた不法加工モデルを小売店頭などで見受けます。これらは各ブランド所有者に対してはもちろんのこと、ジッポー社に対しても商標権の侵害、ならびに不正競争防止法にふれる行為になり、刑罰の対象になります。ジッポー・ライター関係各位におかれましては、ジッポー製品をお取り扱いの際は、必ず上記の法律をご認識くださり、万が一にもお間違いのなきよう、特別のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

★本誌の定期購読をご希望のみなさまへ

「ZIPPO HOT NEWS SPECIAL ISSUE」の定期購読をご希望の方は、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のうえ、ジッポー・サービス(名古屋)「HOT NEWS」係までハガキにてお申込みください。初回送付時に専用の郵便振替用紙を同封いたしますので、郵送手数料1,000円(年2回／税込)をお振込ください。

くわしい情報を入手するなら

[ホームページ] アメリカ本社版 http://www.zippo.com　日本版 http://www.zippo-japan.com
[ＦＡＸ情報] FAX.03-3436-6090　音声ガイドにしたがい、希望する情報BOX番号を指定する。インデックスは「0000」。
[輸入代理店] ●ライターのお問い合わせ／伊藤商事(株)☎03-3562-5811／マルカイコーポレーション(株)☎06-6443-0072
[ライター修理] 〒450-8691 名古屋中央郵便局私書箱233号・ジッポー・サービス
〒111-8691 東京浅草郵便局私書箱47号・ジッポー・サービス東京のいずれかに送付ください。
●このほかジッポー製品は各種あります。本誌記載の表示価格は、2001年3月現在の税抜き標準小売価格です。

お問い合わせは…

© 2001 ZIPPO MANUFACTURING COMPANY
Printed in Japan　禁・無断転載

発行日／2001年3月29日　発行／ジッポー・マニュファクチャリング カンパニー日本代表部／〒453-0021 名古屋市中村区中島町4-4　発行人／岡本昌義　編集／加藤知之　制作／協同広告(株)名古屋支社 ☎052-961-6611　協力／伊藤商事(株)／マルカイコーポレーション(株)／伊藤忠ファッションシステム(株)